校内研修計画

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲州市立塩山北小学校

１　学校課題

塩山北小学校は、塩ノ山の東に位置し、塩山温泉や向嶽寺など古くから文化的に栄えてきた地域にある。地域や家庭の学校教育への関心は高く、そのことは様々な行事への関わりからも実感することができる。

　 本校は、元気で素直な児童が多く、全体的に前向きな気持ちで学校生活を過ごしている姿が見られる。学習においては、課題に対する興味や関心をもちながら意欲的に学ぼうとする児童が多い。しかし、集中力や持続力、指示の理解、基礎・基本の定着や表現力等には個人差があり、個別の支援を必要とする児童がいることが課題となっている。

令和４年度の教研式　標準学力検査CRTの結果分析では、学年ごとの差はあるが、知識、技能及び思考力、判断力・表現力の得点率が全国平均に比べてやや低いことが課題として挙げられた。このことから、学習内容の確実な定着を図る「指導の個別化」と、学習を深め、広げる「学習の個性化」を図り、各教科の見方・考え方を明確にしてそれを働かせる授業展開することで「個別最適な学び」を充実させることが必要であると考えた。更に、児童にとって必然性や有用性のある交流等を通して「協働的な学び」を充実させていく「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化して進める中で「主体的・対話的で深い学び」の実現をする必要性も感じた。

令和５年度の教研式　標準学力検査CRTの結果分析では、学年ごとの差はあるが、昨年度とほぼ同様の傾向が見られる。その一方、見方・考え方を働かせる授業改善に取り組んだ教科、領域では、全国平均に比べて思考力・判断力・表現力が高くなっている学年も見られる。これまでの研究や取組を継続しながら授業改善を図り、児童が主体的に考え、学びを深めていくためにさらに研究を深めていきたい。

２　研究主題

「深く学び、考える児童の育成」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ～国語科・外国語科における見方・考え方を働かせる授業づくり～

３　主題設定の理由

学習指導要領（平成２９年告示）解説第３章では、育成を目指す資質・能力を（１）知識及び技能の習得（２）思考力、判断力、表現力の育成（３）学びに向かう力、人間性の涵養としている。また、それら（１）から（３）が偏りなく実現されるよう、「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善を行うこと」を掲げている。また　「児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること」が掲げられている。

また、令和６年度山梨県学校教育指導指針では、確かな学力の育成として「学習指導要領の趣旨を踏まえた『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的、対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努めること」が記されている。先述した学校課題やこれらの社会的課題に鑑みて本研究主題を設定した。

昨年度の校内研究では、「深く学び、考える児童の育成」を主題とし、国語科・外国語科において見方・考え方を働かせる授業づくりについて研究を進めてきた。国語科部会では、　国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する」ための授業づくりや言語活動の設定のポイントについて研究を進め、外国語科部会では、児童が見方・考え方を働かせるような目的・場面・状況が的確に設定された言語活動を通して、深く学び、考える児童を育成するための手立てについて研究を進めてきた。また、英語教育改善プラン推進事業の研究指定校として、児童一人一人が自分の学習状況に合ったかたちで学習を進めることができるように個別最適な学びの時間をどのように充実させていくか、また小中高連携の在り方について研究することも並行して行ってきた。その中で全職員の共通理解を図りながら、発達段階や教科の目標、ねらいに基づき、理論研究と研究授業や一人一実践を通して学びを深める授業づくりの実践を行うことができた。

昨年度の研究で培った国語科・外国語科における見方・考え方を明確にしてそれを働かせる授業づくりの手立てについて今年度は更に研究を深め、深く学び、考える児童の育成をめざしていきたい。

４　研究の具体的内容と方法

　（１）具体的内容

　　　　　・国語科、外国語科における「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及びそのための「見方・考え方」を働かせる授業構想について（理論研究）

　　　　　・WEBQUアンケートの実施及び結果分析

　　　　　・家庭学習と授業をつなげる取組

（２）研究の方法

　　　　　・授業研究及び研究会

　　　　　・一人一実践の参観

　　　　　・WEBＱＵアンケート結果分析、アタックシートを活用した学級集団づくり

　　　　　・「家庭教育・子育てQ＆A」「家庭学習の手引き」を活用した効果的な家庭学習の提案

５　　年間研修計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 月 | 日 | 研究内容 | 担当 | 備考 | TC要請 |
| １ | ４ | ４（木） | 昨年度研究について　　　今年度の研究の方向について | 研究主任 | 全体会 |  |
| ２ |  | １０（水） | 今年度校内研究の計画と研究の組織づくり  研究の内容及び取り組みについて　　部会組織作り(他) | 研究主任 | 全体会 |  |
| ３ |  | ２4（水） | Google主催ＦｉｇＪａｍ研修15：30－17：00  　（オンライン） | 研究主任 | 全体会 |  |
| ４ | ６ | ５（水） | WEBQU分析・アタックシート作成 | 各学年 | ブロック |  |
| ５ |  | １９(水) | 部会研究 | 部会長 | 部会 |  |
| ６ | 7 | １０(水) | 部会研究 | 部会長 | 部会 |  |
| ７ |  | １７（水） | 特別支援学習会 | 特別支援コーディネーター  各教科担当 | 全体会 |  |
| ８ | ９ | ４（水） | 部会研究（教育課程還流報告会） | 部会長 | 部会 |  |
| ９ |  | 25（水） | 指導案検討① | 部会長  授業者 | 全体会 |  |
| 10 | 10 | １6（水） | 指導案検討② | 部会長  授業者 | 全体会 |  |
| 11 |  | 30（水） | 部会研究 | 部会長 | 全体会 |  |
| 12 | 11 | 6（水） | 国語科研究授業 | 授業者  研究主任  部会長 | 全体会 | 〇 |
| 13 |  | 13（水） | WEBQU分析・アタックシート作成 | 各学年 | ブロック |  |
| 14 | 12 | 4（水） | 部会研究 | 部会長 | 部会 |  |
| 15 |  | 18（水） | 外国語科研究授業 | 授業者  研究主任  部会長 | 全体会 | 〇 |
| １６ | 1 | 22（水） | 本年度研究のまとめ・部会研究のまとめについて | 研究主任  部会長 | 全体会  部会 |  |
| 1７ | 2 | １9（水） | 研究の成果と課題・来年度の方向について | 研究主任 | 全体会  部会 |  |
| 1８ |  | 26（水） | 研究紀要作成（校閲・修正作業） | 研究主任 | 全体会  部会 |  |

（研究主任　中根　絵里）